

旅の一日、初めてのまちへ時間旅行にでかけてみよう。
匠の心があふれる地へ、懐かしい日本の原風景へ、伝統と文化が花咲く街並みへ……。
それぞれに魅力的なまちが、季節のかがやきとともに迎えてくれる。
地元の人の温かいもてなしにふれるのも楽しみだ。
一期一会の旅の醍醐味をじっくり味わおう。



犬山・明治村 美濃・白川郷 飛騨高山 浜松

足をのばして 犬山・明治村

江戸時代を、明治時代を歩く旅

名古屋から25分のワンダーランド

愛知県犬山市は名古屋から北におよそ20km。小高い丘の頂から市内を見守る国宝犬山城のすぐ北を流れる木曽川を越えれば、岐阜県だ。

豊かな川と森に恵まれたこの地には、古代より人が暮らし、数々の物語が紡がれてきた。戦国武将が足跡を残し、江戸時代に形成された城下町が現存する。また、明治村や日本モンキーパークなど、この地方を代表するレジャー施設、霊長類研究で世界をリードする京都大学霊長類研究所の所在地として犬山を知る人も少なくないだろう。そう、ここ犬山は実に多彩な表情を持ち、古代へ、戦国・江戸時代へ、明治時代へと自在にタイムトリップできるワンダーランドなのだ。

名鉄電車を利用すれば名古屋駅から約25分で犬山駅。「ちょっとそこまで」の感覚でここに降り立つたなら、江戸時代のままの町名をもつ城下町を散策するもよし、明治村に当時のロマンを訪ねるもよし。想像力と好奇心をバスポートに異時代を旅しよう。



犬山城

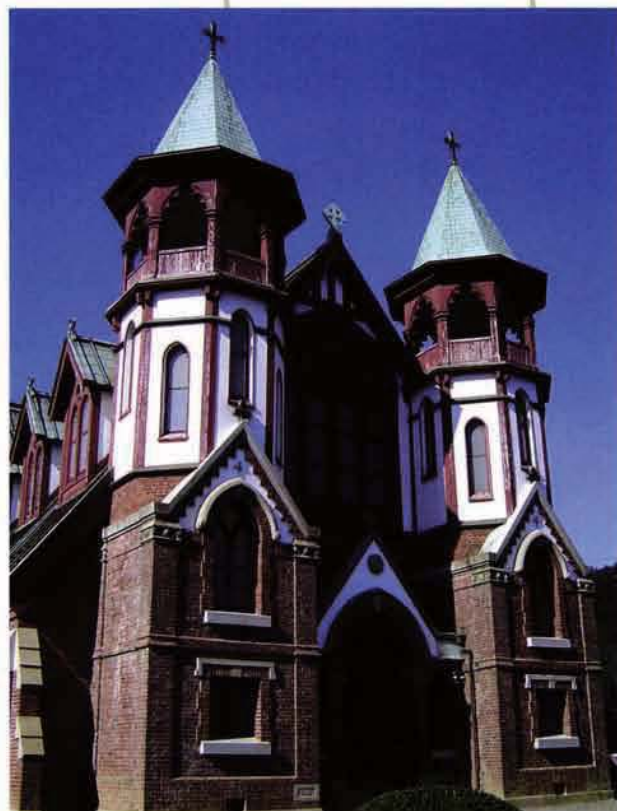
愛知県犬山市大字犬山字北古券65-2
☎ 0568-61-1711
🕒 9:00～17:00
📅 12月29日～12月31日
💰 500円
🚶 名鉄犬山線「犬山遊園駅」から徒歩15分
MAP P110 E-3



木曽川うかい

日本最古といわれる木曽川うかいは、1300年の伝統を誇る。鵜船は夜空に浮かび上がる国宝犬山城を背景に木曽川を下り、その先端で赤々と燃える篝火が鵜匠の巧みな手繰さばきを照らし出す。夜と清流と火、人と鵜が一体となった幻想的な夏絵巻が繰り広げられる。また、日本で唯一実施している昼うかいでは、鵜匠と鵜の見事な動きをさらにはっきりと観賞できる。
問合せ／木曽川観光株式会社 (0568-61-0057)





聖ヨハネ教会堂 国の重要文化財

中世ロマネスク様式を基調とした外観と明るい室内。地震への配慮も見られ、優れた構造がそのまま美しいデザインとなっている。

明治村1丁目6番地

旧所在地／京都市下京区河原町通五條

建設年代／明治40(1907)年



牛鍋屋 大井牛肉店

明治20年頃、岸田伊之助が建てた牛肉販売と牛鍋の店。当時の雰囲気の中で文明開化の象徴「牛鍋」が味わえる。

☎0568-67-0318



食道楽のコロッケーの店

明治時代のベストセラー小説「食道楽」で紹介されているコロッケー(コロッケ)の材料・調理法を忠実に再現。

帝国ホテル中央玄関前芝生広場内(テラス席60席)
芝生広場内大井牛肉店横(テラス席35席)

data 博物館 明治村

愛知県犬山市内山

☎0568-67-0314

🕒 3月～10月 9:30～17:00 11月～2月 9:30～16:00

🗓 12月31日と12月～2月の毎週月曜日

(ただし12月25日、1月1日から6日までと祝日の場合は開村)

👤 大人(18歳以上)1600円 (65歳以上)1200円

🚗 名鉄犬山線「犬山駅」よりバスで20分

MAP P110 E-4



帝国ホテル中央玄関

格式あるホテルの顔として多くの貴賓を出迎えた中央玄関。20世紀建築界の巨匠、フランク・ロイド・ライトが設計。

明治村5丁目67番地

旧所在地／東京都千代田区内幸町

建設年代／大正12(1923)年



建物群が時代を語る 博物館 明治村

文明開化 鹿鳴館、洋風建築、活動写真……。人々の夢や情熱、好奇心と美意識が花開いた明治という時代を再現したのが「博物館 明治村」。緑も豊かな100万㎡もの敷地には、国の重要文化財を含む貴重な建造物が67棟、移築・復元されており、その一棟一棟が無言のまま饒舌に当時を伝える。目的を定め、村内地図で建造物の位置を確認しながら村内巡りのプランを立てたい。

また、四季を通じて開催されるさまざまなイベントもチェックしたい。たとえば、8月に行われる「宵の明治村」では開村時間を延長。建物や街並みをライトアップするとともに「花火競演」や「日替わりコンサート」などが実施されている。浴衣姿の女性は入村料が無料に、浴衣姿の男性は割引料金で入村できるという特典もあり、見逃せない。

※平成19年秋には、関西近代建築の父といわれる武田五一博士が設計した「芝川邸」が開館する予定。



国宝茶室 如庵(有楽苑)

大茶匠・織田有楽斎(織田信長の実弟)が建てた茶室。国宝茶席三名席に数えられる。普段は非公開だが、毎年1月1日～6日に初釜を行うほか、春と秋に一般公開する。

愛知県犬山市御門先1 ☎0568-61-4608(有楽苑)
年間行事 初釜(毎年1月1日～6日)、特別公開(春秋2回)
🚶 名鉄犬山線「犬山遊園駅」より徒歩15分
MAP P110 E-3



犬山市文化史料館

犬山祭の車山をはじめ、犬山が誇る文化財・文化遺産を展示。別館「からくり展示館」では車山のからくり人形や津田禎三作の「尾州機巧幻想」を展示。

愛知県犬山市大字犬山字北古券8
☎0568-62-4802
🕒 9:00～17:00
🗓 12月29日～12月31日
👤 100円(別館見学可)
🚶 名鉄犬山線「犬山駅」より徒歩15分
MAP P110 E-3



どんでん館

城下町の町家づくりを再現した施設内に、犬山祭の車山13両のうちの4両を展示。臨場感あふれる演出で祭りの賑いを味わうことができる。

愛知県犬山市大字犬山字東古券62
☎0568-65-1728
🕒 9:00～17:00
🗓 12月29日～12月31日
👤 200円
🚶 名鉄犬山線「犬山駅」より徒歩10分
MAP P110 E-3



犬山城・城下町を散策する

犬山駅から城をめざして10分も歩けば、そこはもう江戸時代の面影を色濃く残す城下町だ。当時のままの基盤に整った筋には古くからの町家が軒を連ね、趣のあるカフェやショップが観光客の人気を集めている。

信長の叔父・織田与次郎信康によって築かれたこの城は、国宝4城の中でも最も古く、小牧・長久手の戦いで豊臣秀吉軍の本陣となった。また、山内一豊はここから関ヶ原の戦に出陣している。多くの武将たちの野望と勇姿、運命を静かに見つめてきた城なのだ。

最上階は、木曾御岳や恵那山、伊吹山、岐阜城などが一望できる展望台。かの武将も見ただろう素晴らしい眺めを、戦国の世に思いを馳せつつ眺めてみたい。

犬山歴史観光ガイド「ナイスで犬山」

(問合せ／犬山市観光協会 0568-61-2825)

多彩な個性が軒を連ねる。 「ザ・朝市 オブ 犬山」

毎週日曜日、清流木曾川沿いの旅館街前遊歩道に約40店の朝市が立つ。とれたての農産物や特産品などが並び、観光客はもちろん地元や近隣市町の人々の人気を集めている。

・平成18年は3月26日～12月24日の毎週日曜日に開催
通常6:30～8:30、ただし11月5日以降は7:30スタート





美濃の春を彩る「花みこし」。美濃和紙でできたピンクの飾りを揺らして御輿が町を練り歩く。



旧今井家住宅・美濃史料館

江戸時代から昭和16年頃まで和紙問屋を営んだ旧家で、美濃史料館でもある。中庭には日本の音風景百選に選ばれた水琴窟がある。

岐阜県美濃市泉町1883
☎ 0575-33-0021
📅 4月～9月 9:00～16:30 10月～3月 9:00～16:00
🔥 火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月29日～1月3日)
🎫 300円
🚶 長良川鉄道「美濃市駅」より徒歩10分
MAP P116 H2



「うだつ」の上がる町並みと美濃和紙のふるさと

足をのばして 美濃

美濃和紙あかりアート展

毎年10月、美濃和紙を使ったあかりのオブジェを「うだつの上がる町並み」に展示する作品展が行われる。夕刻になると、400点以上のあかりが江戸情緒を幻想的に映し出す。
日時／毎年10月体育の日の前の土・日(予定)
場所／うだつの上がる町並み



清流の恵みが生んだ町と和紙

岐阜県美濃市は、岐阜市の北約20kmに位置する水と緑に恵まれた旧城下町。関ヶ原の戦いで功績をあげた金森長近がこの地に小倉城を築城し、慶長11(1606)年頃には現在の町割が完成。その後、長近が開いた上り有知湊(ちみづ)によって、物資集散の一大拠点となり商業都市として繁栄した。

当時の面影を色濃く残すのが、平成11年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された「うだつの上がる町並み」だ。「うだつ」とは本来、火災の類焼を防ぐための防火壁だが、豪商らが富の象徴としてその装飾性を競うようになり「うだつを上げる」の言葉も生まれた。

この「うだつ」とともに、美濃市を代表するのが美濃和紙である。江戸時代からの商業発展にも貢献した美濃和紙の歴史は古く、起源は遠く奈良時代にまで遡ることができる。この地の清らかな水と質の高い原料、職人たちの技が、21世紀の今日もなお人々の心を魅了する美濃和紙を誕生させたのだ。



江戸時代から続く通り酒屋、小坂家の「うだつ」

数百年の時を超えて

「うだつの上がる町並み」は東西に二筋、南北に四筋の街路が通る目の字型の一画。この地区に足を踏み入れると不思議な感覚に襲われる。まるで、古い日本映画の中に入りこんでしまったような……。江戸時代のままの町割に瓦屋根の旧家が並び立つ、その存在感が、私たちを数百年前の時代へと誘うのだ。今が21世紀であることを忘れて、ゆったりとじんわりと、いにしえの時に身を浸したい。

美濃市は「うだつ」のある家を全国最多の19棟有しているが、市内最大級の「旧今井家住宅」をはじめとするすべての家がこの地区に集まっている。時代や財力の違いによって異なる「うだつ」のデザインを見比べながら、途中、雰囲気のある手づくり小物店や甘味処などに立ち寄っていく。これが、この町の正しい散策方法かもしれない。

10名以上の団体なら、地元有志による「町並み案内ボランティア」がうだつの上がる町並みやその周辺を丁寧に案内してくれる。地元の人とともに歩き、見、語り合う貴重なひとときは、忘れられない旅の思い出になるはずだ。



町並み案内ボランティア

問合せ／旧今井家住宅 0575-33-0021
2週間前までの予約が必要。案内料は無料。
(但し旧今井家住宅への入館料が必要)



町並みギャラリー 山田家住宅

江戸時代に建てられた「うだつ」のある民家を改修した「町並みギャラリー」では、「和紙ちぎり絵」や「和紙手芸」が月替わりで展示されている。

岐阜県美濃市泉町2161-1
☎ 0575-33-1122 (美濃市経済部観光課)
📅 4月～9月 10:00～16:30 10月～3月 10:00～16:00
🔥 火曜日 年末年始(12月29日～1月3日)
🎫 無料
🚶 長良川鉄道「美濃市駅」より徒歩10分
MAP P116 H2

ふるさとの味と笑顔がうれしい。うだつ朝市

4月～12月の毎月6日・16日・26日、「うだつの上がる町並み」の宝勝院境内にうだつ朝市が立つ。時間は朝7:30～8:30。短時間だが、新鮮な野菜や果物、花などを目当てに大勢の人が集まり賑わいを見せている。詳しくは山田たたみ店(0575-33-1435)まで。

和紙の歴史と伝統にふれる

「正倉院文書」の記録から、少なくとも7世紀（1300年前）にはつくられていたと推定される美濃和紙。その魅力をあますところなく教えてくれるのが「美濃和紙の里会館」だ。ここでは、美濃和紙をはじめとする和紙づくりの歴史と技術、可能性を紹介するとともに、多彩な企画展を開催。気軽に紙すきを体験できるワークショップもある。旅の思い出にぜひ挑戦してみよう。

また、「美濃和紙あかりアート館」も必見だ。館内には、美濃市の人気イベント「美濃和紙あかりアート展」を再現したミュージアムがあり、やわらかなあかりの数々が醸し出す幻想的な空間に身を置くことができる。「うだつの上がる町並み」から徒歩圏内にあり、城下町散策を楽しんだ後に立ち寄れば、実際の「美濃和紙あかりアート展」の様子をより鮮明にイメージできる。



美濃和紙の里会館

美濃和紙をテーマに多彩な企画展を開催。紙すき体験もできる。

岐阜県美濃市藤生1851-3

☎ 0575-34-8111

🕒 9:00～17:00

🗓 火曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日、年末年始（12月29日～1月3日）

🎫 500円

🚗 岐阜バス牧谷線「和紙の里公園前」すぐ

MAP | P116 G-2



美濃和紙の伝統と歴史は脈々と受け継がれ、現在も国の重要無形文化財に指定されている本美濃紙をはじめ、さまざまな美濃和紙がつくられている。



原料である楮の皮をむき、清流に2、3日つけこむと、不純物が溶け出し、日光によって漂白される。



漉き上げた紙を一晩放置した後、干し板に丁寧に張り付け、日光で乾燥させる。



美濃和紙あかりアート館

昭和16年頃に建築され、平成17年に国の登録有形文化財となった旧美濃町産業会館の中に「美濃和紙あかりアート展」を再現。

岐阜県美濃市本住町1901-3

☎ 0575-33-3772

🕒 4月～9月 9:00～16:30

10月～3月 9:00～16:00

🗓 火曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日、年末年始（12月29日～1月3日）

🎫 200円 中学生以下無料

🚗 長良川鉄道「美濃市駅」より徒歩15分

MAP | P116 H-2

足をのびして 飛騨高山

春と秋、祭り一色に染まる小京都

京の雅と江戸の粋を併せ持つ町

槍ヶ岳、乗鞍岳、穂高連峰などの名峰に囲まれた小京都・飛騨高山。この町の基盤をつくった戦国時代の武将・金森長近は、天神山に高山城を築き、宮川を加茂川に、錦山を東山になぞらえて碁盤目状の町並みを整えた。また、京都、大坂、加賀の豪商を移住させ、繁栄の礎を築いた。

江戸時代になると飛騨は幕府直轄の天領になるが、高山は引き続き飛騨の経済・交通の要所として発展。山深きこの地に、京の雅と江戸の粋を併せ持つ独特の文化が開花した。

こうした高山の歴史と文化の結晶ともいえるのが「高山祭」だ。絢爛豪華な屋台とからくり人形、祭行列などで知られる「高山祭」は、春の山王祭と秋の八幡祭の総称で日本三大美祭の一つ。春の山王祭は旧高山城下町の南半分の氏神である日枝神社の、秋の八幡祭は北半分の氏神である桜山八幡宮の例祭で、春には12台、秋には11台の屋台が曳き揃えられ、からくり人形の妙技も奉納される。

毎年約430万人もの観光客が訪れる高山。祭り一色に染まったこの町も一度は体験してみたい。



春の高山祭



布袋台からくり奉納



表参道曳き揃え

春の高山祭／毎年4月14日・15日（夜祭14日）
秋の高山祭／毎年10月9日・10日（宵祭9日）
問合せ／高山市観光課（0577-32-3333）

写真協力：高山市

高山400年の歴史をたどる

高山市の中心部を流れる宮川の東部は、江戸時代の面影を残す商家群や町家群、寺院群などの伝統的建造物が建ち並ぶ「伝承空間エリア」。高山400年の歴史が凝縮した場所であり、見どころも盛りだくさん。

高山ならではの町家建築を堪能するなら、隣り合う「吉島家住宅」「日下部民藝館」をめざそう。高山駅で下車した場合は、途中、駅から10分ほどの場所に立つ「宮川朝市」で「かかさ」と呼ばれる年配の女性たちと、

しばし歓談。おいしい漬物を試食しながら、おみやげを探したい。

吉島家、日下部家を見学した後は、伝統的建造物を店舗にする菓子屋や骨董屋、料理屋などに立ち寄りながら「高山祭屋台会館」へ。秋の高山祭の雰囲気を感じてみる。

なお、この地を知り尽くした高山在住の60歳以上の方が、「飛驒高山シルバー観光ガイド」（愛称：おもてなし案内人）として活躍中。もてなしの心で高山の見どころを案内してくれる。

日下部民藝館

天領時代幕府（代官所）の御用商人として栄えた商家。明治12（1879）年、高山随一の名工といわれた川尻治助によって建てられた。雪国の民家らしく低くどっしりとした構えで、正面表構えの出格子、入格子、窓切りの変化などに江戸時代の高山の町家造りの特色が見てとれる。昭和41（1966）年、明治建築の民家では初めて国の重要文化財に指定された。

岐阜県高山市大新町1-52
☎ 0577-32-0072
🕒 3月～11月 9:00～16:30
12月～2月 9:00～16:00
🎫 3月～11月 無休
12月～2月 火曜日（年末年始は開館）
👤 500円
🚶 JR「高山駅」より徒歩17分
MAP P114 F2



高山祭屋台会館

桜山八幡宮境内にあり、日本一の大神輿を先頭に高山祭の屋台（国・重文）を展示し、祭行列を再現している。江戸時代の飛驒の匠の技が堪能できる。

岐阜県高山市桜町178
☎ 0577-32-5100
🕒 3月～11月 8:30～17:00
12月～2月 9:00～16:30
🎫 年中無休
👤 820円（桜山日光館とのセット料金）
🚶 JR「高山駅」より徒歩20分
MAP P114 F2



レストランブルボン

創業33年の老舗ステーキレストラン。シェフが選び抜いたA-5ランクの最高級飛驒牛だけを使用。新鮮な魚貝類を使った単品料理や、料理に合うワイン、シャンパンも揃えている。

岐阜県高山市本町4-5
☎ 0577-33-3175
🕒 11:00～14:00、17:00～20:00
🎫 不定休
🚶 JR「高山駅」より徒歩10分
MAP P114 F2



茶房 布久庵

古い町家をそのまま使った甘味処。畳敷きの店内からは中庭が眺められ、しっとりとした和の雰囲気の中、骨董の器でこだわりの甘味を味わえる。

岐阜県高山市下一町17
☎ 0577-34-0126
🕒 10:00～17:00（夏期は10:00～17:30）
🎫 火曜日 🚶 JR「高山駅」より徒歩15分
MAP P114 F2



古い街並 上三之町

「高山の匠」の技にふれる

「かにかくに物は思わず 飛驒びとの打つ墨縄のたゞ二道に」（万葉集巻十三 二六四八番歌 作者未詳）。万葉人をもうならせた飛驒の匠の卓越した技と心は、高山が誇る家具や民芸品に今も息づいている。

高山の家具づくりは、大正時代に西洋スタイルの曲げ木のイスを手がけたことに始まったという。豊かな森林資源を用い、匠の技に新しい感覚を加えたモダンな家具は人々の注目を集め、やがて「飛驒の家具」の名で全国的に知られるように。上質な木材と頑丈なつくり、使うほどに味わいを増す美し

さを併せ持つ「飛驒の家具」は、今や日本の洋家具の代名詞ともなっている。

一方、国の伝統的工芸品に指定されている「春慶塗」は、木目が透けて見える「透き漆」が特徴。木地師と塗り師の技が一体となり、時とともに透明感を増す美しい塗りをつくり出す。

また、飛驒の銘木イチイの木をノミだけで彫り上げる「一位一刀彫」も素晴らしい。江戸時代末期の根付彫刻家、松田亮長が生んだダイナミックかつ繊細な技法は、今も伝統工芸士らに受け継がれ、人々の心を惹きつけている。

飛驒高山春慶会館

白壁土蔵造りの建物では、飛驒の伝統工芸・春慶塗の逸品を、江戸、明治、大正、昭和と時代を追って展示。実物を用いて技法を説明するコーナーも。ペン皿や壁掛け、絵馬などの木地に絵付けを楽しむこともできる。

岐阜県高山市神田町1-88
☎ 0577-32-3373
🕒 4月～10月 8:30～17:30
11月～3月 9:00～17:00
🎫 12月31日、1月1日
👤 300円
🚶 JR「高山駅」より徒歩15分
MAP P114 F2



飛驒の匠文化館

奈良の都の造営や仏像彫刻に活躍し、名を馳せた「飛驒の匠」。その歴史や技術を紹介、展示するとともに道具などを一堂に集めた文化館。建物自体も見ごたえ十分で、現代の飛驒の匠が手がけたよ

岐阜県飛驒市古川町壱之町10-1
☎ 0577-73-3321
🕒 3月～11月 9:00～17:00
12月～2月 9:00～16:30
🎫 12月28日～1月2日
👤 300円
🚶 JR「飛驒古川駅」より徒歩10分
MAP P114 E1



一位一刀彫



飛驒の家具館

小学校の木造校舎を改築したショールーム（約200坪）に、大正9（1920）年創業の老舗ブランド「キツツキマーク」の家具を多数、コーディネート展示。一品一品から木のぬくもりが伝わってくる。イスづくり工場を公開、飛驒の手仕事を見ることが

岐阜県高山市名田町1-82-1
☎ 0577-36-1110
🕒 9:00～18:00
工場見学は要予約。所要時間約1時間。
🎫 年末 🚶 JR「高山駅」より徒歩10分
MAP P114 F2





どぶろく祭り

毎年9月～10月、村内の5つの神社で行われる奇祭。昼は祭りの行列が村内を練り歩き、夕方からは獅子舞や民謡などが奉納される。独特の製法で醸造されたどぶろくが参詣者にふるまわれる。獅子舞、民謡は県の重要無形民俗文化財。

どぶろく祭りの館

1200年前から続く「どぶろく祭り」を人形や模型によって再現。どぶろくの試飲もできる。

岐阜県大野郡白川村荻町559
白川八幡神社境内
TEL 05769-6-1655 9:00～16:00
※ 12月～3月、10月13日～16日
※ 300円 ※ 白川郷バス停から徒歩10分
MAP P115 C-1



旧遠山家民俗館

1820年代に建てられた白川郷を代表する切妻合掌造り。4層建てで1階が住居、2層～4層は養蚕スペース。現在は、白川郷の衣食住に関する多くの資料を展示している。昭和46年、国の重要文化財に指定。

岐阜県大野郡白川村御母衣125
TEL 05769-5-2062
※ 4月～11月 8:30～17:00 12月～3月 9:00～16:00
※ 水曜日(祝日の場合は前日) 年末年始(12月29日～1月3日)
※ 300円 ※ 濃飛バス高山行きで18分、牧下車徒歩10分
MAP P115 C-1

白川郷観光案内の会

問合せ／白川郷観光協会 05769-6-1013
10日前までに、観光案内申込書の提出が必要。



地元産の新鮮野菜が並ぶ「元気な野菜館」

白川郷の特産品を多く揃える店。特に人気を集めているのが、地元の農家が並べる収穫したての野菜。新鮮なのはもちろん安価なのもうれしい。
・バス停「白川郷」からすぐ。
・営業時間不定、不定休。
・問い合わせは、白川郷観光協会(05769-6-1013)まで。

世界遺産の里を歩く

白川郷の旅のスタート地点としておすめなのが、荻町城址展望台。その名のとおり15世紀に建てられた荻城の跡地につくられた展望台で、ここからは合掌集落の里が一望の下。日本の原風景そのままの景色が堪能できる。

この荻町には古い合掌家屋が113棟あり、町を歩けば、白川郷が世界遺産に登録された理由を身をもって実感できる。内部を公開している家などを中心にゆつくりと散策しよう。合掌造りの美術館や民宿、食事処もある。

中でも、「どぶろく祭りの館」は必見だ。白川郷の一大イベント「どぶろく祭り」は、古くからこの村の人々とともにあり、厳しい自然の中に生きる人々の癒しとも活力と

もなつてきた。その祭りを再現するこの館で、独特の甘酸っぱさがあるどぶろくを試飲し、村の暮らしと心に迫りたい。白川村御母衣にある「旧遠山家民俗館」にもぜひ、足をのばそう。内部に展示されている数々の資料とともに、国の重要文化財に指定されている建物自体もじっくり鑑賞したい。

白川村では、白川郷の歴史や文化を広く伝えるために発足した「白川郷観光案内の会」の面々が活躍している。



足をのばして

白川郷

日本の原風景、世界遺産・白川郷

自然と共生する合掌造り

世界遺産 白川郷は、岐阜県の険しい山間部に位置する豪雪地帯。山々と雪が外部との往来を強く阻んだ時代、この地で暮らすことは決して容易ではなかった。厳しい自然環境の中で生きるには、知恵を絞って工夫を凝らす必要があったのだ。そして、その知恵と工夫が世界に誇る合掌造りを生んだ。合掌造りには釘が一本も使われていない。また急勾配の茅葺屋根で、雪対策をほどこしている。白川郷の合掌造りは、茅葺屋根の



屋根の葺き替え

合掌造りの茅葺屋根は30年から40年に一度、葺き替えなければならない。「結」という労力交換制度のもと、それぞれの家の葺き替えに村人が総動員であった。



一斉放水

放水銃による一斉放水の訓練。

写真協力 白川村産業課高工観光係



白川郷の自然や暮らしを体感

世界的にも貴重な場所、白川郷を訪れたなら、ただ見るだけでなく、もう一歩深くこの地の姿を探りたい。美しく厳しい自然と、古くから受け継がれてきた文化に体験を通して寄り添ってみたい。

そんな気持ちに応えてくれるのが「野外博物館合掌造り民家園」だ。こは、白川郷各地の離村民家を移築保存し展示する野外博物館で、わら細工や草木染めにチャレンジできる。また、そば打ち体験も人気を集めている。

野外博物館 合掌造り民家園
5.6haの敷地内に岐阜県の重要文化財9棟を含む25棟の建物があり、復元した各民家では民具づくりが実演されている。隣のふるさと体験館の「手打ちそば処そば道場」ではそばが食べられる。

岐阜県大野郡白川村荻町2499
☎ 05769-6-1231
🕒 4月～7月、9月～11月
8:40～17:00
8月 8:00～17:30
12月～3月 9:00～16:00
休 4月～11月 無休
12月～3月 木曜日(祝日の場合は前日)
料 500円 ☑ 白川郷バス停からすぐ
MAP P115 C-1



トヨタ白川郷自然学校

平成17年4月にオープンした、白川村の新しい顔。豊かな自然を楽しみ、学ぶことができる。

岐阜県大野郡白川村馬狩223
☎ 05769-6-1187
🕒 チェックイン15:00～
チェックアウト10:00
料 大人1泊2食付 10600円～
☑ 白川郷バス停から送迎バスあり(要予約)
MAP P115 C-1



レストラン「ラ・リヴィエール・ブランシュ」では、地元の有機野菜、富山県氷見市から取り寄せる海の幸などを使った料理が味わえる。
ランチ ● ランチコースプラン
(フレンチコース+ミニシアター)
2300円(要予約)

PROGRAM

- デイリープログラム 毎日催行
クラフト工房、モーニングガイドなど
- ホリデープログラム 休日を中心に催行
ナイトハイク、二十四節気プログラムなど
- イベントプログラム 日にも限定で催行
親子の夏休みキャンプなど



足 を の び し て 浜松

音楽の町・楽器の町、浜松

和製ピアノの歴史が凝縮

静岡県の浜松を彩るのは、音符や楽器をモチーフとする数々のオブジェ。それぞれに美しく個性的な表情が、散策する足取りも気持ちまでも軽やかにしてくれる。

たとえば、浜松駅に隣接する「アクトシティ浜松」には、国際ピアノコンクールなどが開催されるコンサートホールや、世界の楽器とふれあえる「楽器博物館」があり、屋上公園では、ショパンのふるさとワルシャワ市から贈られた「ショパン像」が、人々にやさしいまなざしを送っている。

こんな様子を目の当たりにすると、ここが日本の楽器生産高の9割を占める楽器の町であることを再認識する。市販の国産ピアノ第一号が誕生したのもこの町だ。遠州のからつ風に鍛えられた「やらまいか」(よしやつてやろう)というチャレンジ精神のもとに、そのピアノが生み出されてから約100年。現在では、最も身近な楽器のひとつとなったピアノの歴史が、ここに凝縮している。





宮脇綾子ポストカードセットⅠ・Ⅱ

一枚一枚やさしいぬくもりが伝わるアクリル作品のオリジナルポストカード。作品集としても楽しめるバリエーション。
2種類各32枚入り
各1000円
(豊田市美術館)



黄金の騎士ハンカチ

所蔵のグスタフ・クリムトの作品をモチーフにしたデザインで、シックな色合いがオシャレ。大判なのでスカーフとしても使える。
1000円
(愛知県美術館)



家康三方ヶ原戦役像

(木箱入り)
(徳川美術館)

三方ヶ原の戦いで武田信玄に敗れた家康。後年、その姿を描かせ慢心の自戒にしたという。あの家康にも苦勞があった。やきものになった姿を見て我が身を奮い立たそう。
8万7150円



おさげ髪キャンデー

美術館の顔として人気のモデルリアー二作のおさげ髪の少女が金太郎飴に。ユニークなかわいらしさが好評。
500円
(名古屋市美術館)

名古屋グルメをおみやげに



スパゲティハウスチャオのソース

あんかけスパの人気店のオリジナルソース。じっくり煮込んだ野菜の旨みとスパイスが溶け込んだとろりとしたソースは、パスタと相性抜群。
2人前 440円
(株)モリタ ☎0562-96-1897



山本屋総本家の元祖生煮だしめんと

のどごしのいい平打ちのきしめんを、地元八丁味噌と白味噌をブレンドしたスープで味わう。独特の香りとこくがやめられない名古屋伝統の味。
2食入り 1000円(キオスクのみ販売)
(株)山本屋総本家 ☎052-322-0521



こんぶ屋さんのうみあい手羽

居酒屋メニューでお馴染みの手羽先。国産の手羽を昔ながらの製法にこだわり、北海道の真昆布だしでやわらかく炊き上げた味自慢。
6本入り 840円
(株)石昆 ☎052-932-2911



ひつまぶしの里茶漬け

人気のひつまぶしの絡めはお茶漬けでいただくのが名古屋流。ごはんにはバックの具をのせてお湯を注ぐだけで、うなぎの旨みも味わえる一品。
3食入り 630円
(株)長登屋 ☎0120-0404-53



七宝焼クリアファイル

優美で繊細な七宝焼の作品をあしらったファイル。筆箋、ポストカードでもその豪華さにふれる。
2冊入り200円
(七宝焼アートファイル)



トトロの飯茶碗と湯呑み茶碗

ここでも買えないというわけではないが、トトロ絵柄の種類は豊富。あれこれ迷ってお気に入りのトトロを探して。
各1365円
(フリタケの森)

こんなものもつけた！ ミュージアムグッズ & 名古屋みやげ

訪れたミュージアムのショップへ立ち寄るのは旅の楽しみの一つ。そこでしか手に入らない個性的なグッズやおすめのセレクトグッズを、旅の思い出に持ち帰ろう。おみやげには、今や全国区となった名古屋名物も喜ばれることうけあいだ。



オリジナルレトルトカレー

(ビーフ・野菜・ハッシュドビーフ)
(トヨタ博物館)



フラッシュ・ロイド・ライトボールペン

20世紀の名建築家のデザインをモチーフにした色遣いと重厚感が魅力。
各7980円
(博物館 明治村)



五趣盃

昭和初期の盃を復刻した上品な白磁の盃セット。お酒や気分に合わせて、好みの盃で晩酌を。
5点木箱入り
6300円
(市之倉さつき美術館)



シチリアタイル

明るく陽気な図柄が愛らしいイタリア製の15×15cm角のタイル。インテリアのアクセントに。
2310円
(スタンド別売り)
(TAXIミュージアム)

今、「産業観光」が動き出している

ものづくりをテーマにした新しい観光をめざして
 全国さまざまな場所、地域の個性を生かしたおもしろい取組みが始まっています。
 実は、その始まりは、名古屋・愛知から。
 ものづくりのまち・名古屋や中部地域の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたいと、動き始めたのです。
 「産業観光」の歩んできた道のりを紹介します。

愛知万博誘致に向けて

平成6(1994)年～

平成6年、愛知県、名古屋市、中部財界が2005年の万博誘致に向けて動き出した。その過程で、開催地をヒールするために、ものづくりをテーマとした観光の必要性が実感され、須田寛氏(現東海旅客鉄道(株)相談役)により「産業観光」が提唱される。

産業観光資源の掘り起こし

平成7(1995)年～

名古屋商工会議所(文化委員会)が中心となって博物館、資料館と見学可能な工場を選び出す作業を開始。それにより名古屋近郊の24の博物館、資料館と9工場を選び出した。また、貴重な産業遺産が残る中部では、それらを保存しようという関係者の手でデータベースもつくられていた。これらを生かし、保存だけでなく「観光」の視点で活用する道が検討された。

ネットワークづくり

平成8(1996)年～

産業観光資源として選出された24館と自治体、観光団体、経済団体、国が一堂に会する「産業観光推進懇談会(AMIC)」が平成8年に結成される。3か月に一度集まり、情報交換、共同事業の展開など話し合い、産業観光の共通イメージを固めていった。

情報発信

平成9(1997)年～

中部にとつて、産業観光はこれまでにない新しいコンセプトの観光。そのため、万博のピーアールともタイアップしながらさまざまな情報発信を行ったほか、各種の観光イベントにも参加し「産業観光ブース」を出展した。こうした動きの中で、地元中部圏では75%の人が「産業観光」という言葉を知っているというアンケート結果を得るまでに。

産業観光推進宣言

平成13(2001)年～

平成13年名古屋で「全国産業観光サミット in 愛知・名古屋」を開催。全国から約70の県市町村が参加。「産業観光推進宣言」を採択、10月25日を「産業観光の日」と制定。これにより産業観光の動きが全国へ展開された。第2回から「全国産業観光フォーラム」と改める。平成18年、第6回を北九州市で開催。

2005年 愛知万博の開催

平成17(2005)年～

「自然の叡智」をテーマに開催された2005年日本国際博覧会愛知万博。万博は「産業観光」のルーツともいえるもの。この機会に24の博物館を万博の場外展示場と位置づけ、万博に訪れた人々に、さらに地域で産業観光してもらうために連携を図った。

まちづくりと産業観光

平成18(2006)年～

そのまちが、どんな産業で成り立ち、どんな歴史を積み重ねてきたか。「産業観光」はそれぞれの地域の産業発展の経緯をたどり、その原点を求める観光。こうした中で、産業観光をまちづくりと一体となって進めようという動きが始まっている。

産業観光の展望



須田 寛
 (東海旅客鉄道株式会社 相談役)

名古屋をはじめとする中部地方には、あまり観光するところがないと言う人がいます。

そうでしょうか。ここは、江戸、徳川の時代からものづくりを育んできたまちであり、ものづくりのまち・名古屋でなければできない観光があると、私は思います。

平成6年、愛知万博へと動き出したこの地域をより多くの人に知ってもらうために、私たちは「産業観光」を提唱しました。この地域の、ものづくりに関連する産業文化財、生産現場、製品などを誇りを持って人々にお見せしたい、その頃開館した産業技術記念館や愛知県陶磁資料館などの素晴らしい施設を生かしたいという思いがあったからです。そして10年にわたってさまざまな取組みを行ってきました。

万博を終えた今、さらに産業観光を推進するためには、それぞれの地域が、産業観光をまちづくりの中で位置づけ、市民、企業、行政が連携し、まちぐるみで訪れる人を迎えることが求められています。さらに言えば産業観光を長続きさせるためにビジネスモデルも必要でしょう。そして外国人にもどんどん来てもらいたい。そのために地域間の広域的な連携を図って産業観光のゾーンを広げ、国際的に連携することが重要です。

人間のいるところ、産業はある。産業とは文化なのです。その原点に立ち返り、地域をみつめて日本全国に産業観光の輪を広げていきたいと思います。(談)

産業観光のカテゴリー

「人の暮らしと、産業あり」

産業観光のカテゴリーは実に幅広い。例えば…



伝統工芸

やきもの、漆器、染織など伝統的なものづくりとの出会い



工場見学

自動車、機械、食品などあらゆる製品の生産現場を訪ねる



企業ミュージアム

企業の歴史、製品、技術、ひと、ものづくりの物語との出会い



産業遺産

ダム、橋、機械、道具などかつての産業を支えた遺産にふれる



農業・林業・漁業

体験農場、果実狩り、投網など第1産業の体験や見学



特化テーマプロジェクト

交通、環境、健康 エネルギーなどの取組みを学ぶ



先端技術研究拠点

各分野の研究開発拠点を訪ね、最先端にふれ未来を展望する



街並み

時代の面影を残す街並みを歩きその歴史にふれる



集客イベント

たとえば愛知万博のような大規模な集客イベント

●カゴメ記念館（東海市） カゴメのソース類の工場や記念館を見学できる。ソースのプレゼントもある。 住 東海市荒尾町東屋敷108 ☎ 052-603-1161（1週間前までに要予約） 交 名鉄常滑線「新日鉄前」徒歩20分、「西小鈴谷」徒歩7分 営 9:00～15:00　休 土・日・祝、お盆、年末年始 料 無料 HP http://www.kagome.co.jp MAP P113 D-4	
●コカ・コーラ セントラル ジャパン東海工場（東海市） コカ・コーラ社製品の製造工程を見学できる。試飲、記念品ももらえる。 住 東海市南柴田町トの割266-18　☎ 052-602-0413 交 名鉄常滑線「名和」徒歩15分 営 9:30～16:30　休 月・土・日、特定日 料 無料 HP http://www.cccj.co.jp MAP P113 D-3	
●東邦ガス（株）ガスエネルギー館（東海市） 地球温暖化とエネルギーについて、映画、実験などを通して環境問題を学べる。 住 東海市新宝町507-2　☎ 052-603-2527 交 名鉄常滑線「柴田」から送迎バス 営 10:00～17:00　休 土・祝、お盆、年末年始　特別に定める休館日 料 無料 HP http://www.tohogas.co.jp/gas-enekan MAP P113 D-3	
●知多電力館（知多市） 知多発電所構内の見学や3Dシアターなどで電気エネルギーの世界を紹介。 住 知多市北浜町23　☎ 0562-55-8311 交 名鉄常滑線「古見」徒歩10分、西知多産業道路長浦I.Cから約400m北 営 9:00～16:30 休 月曜（祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始 料 無料 HP http://www.chuden.co.jp/tita-pr/ MAP P113 C-5	
●えびせんべいの里　美浜本店（知多郡美浜町） 新鮮なえびを使ったえびせんべいの製造工程を見学、試食コーナーも人気。 住 知多郡美浜町大字北方字吉田流52-1　☎ 0569-82-0248 交 知多半島道路美浜I.Cすぐ 営 8:00～17:00　休 無休 料 無料 HP http://www.ebisato.co.jp MAP P120 G-4	
●やきもの散歩道（常滑市） MAP P120 G-3	
●共栄窯セラミックアートスクール（常滑市） MAP P120 G-3	
●INAXライブミュージアム（常滑市） MAP P120 G-3	
●博物館「酢の里」（半田市） MAP P120 H-3	
●国盛　酒の文化館（半田市） MAP P120 H-3	
●手織り三河木綿工房　手織場（蒲郡市） 古い技法を守り制作活動する工房で、綿打ち、糸紡ぎ、機織りなどを見学、体験できる。 住 蒲郡市港町19-4　☎ 0533-68-5771 交 名鉄蒲郡線「蒲郡」徒歩5分 営 10:00～16:00　休 土～火曜、お盆、年末年始 料 無料（体験有料） HP http://www.yumeoribito.jp/ MAP P123 B-3	

●蒲郡オレンジパーク（蒲郡市） イチゴ、メロン、ブドウ、ミカンなど旬の味覚狩りが楽しめる。 住 蒲郡市清田町小栗見1-93 ☎ 0533-68-2321 交 JR東海道本線「蒲郡」から車で10分 営 9:00～17:00 休 年末 料 無料 HP http://www.orepa.jp/ MAP P123 B-3	
●トヨタ鞍ヶ池記念館（豊田市） MAP P112 H-3	
●トヨタ博物館（長久手町） MAP P108 H-3	
●トヨタ会館（豊田市） MAP P112 H-4	
●和紙のふるさと（豊田市） MAP P119 C-5	
●手づくり工房山遊里（豊田市） MAP P123 C-1	
●三州足助屋敷（豊田市） MAP P123 C-1	
●ホテル百年草（豊田市） MAP P123 C-1	
●豊田市美術館（豊田市） MAP P112 H-3	
●豊田市近代の産業とくらし発見館（豊田市） MAP P112 H-3	
●とよた科学体験館（豊田市） MAP P112 H-3	
●木材需要促進センター　木 木（豊田市） 木材のPR施設。予約制の木工教室が子どもたちに好評。郷土資料館も隣接。 住 豊田市黒田町南水別713 ☎ 0536-82-2311 交 名古屋I.Cから約60分 営 9:00～17:00 休 月曜（4～10月は無休） 料 無料（施設利用有料） HP http://www.woodytoyota.net/ MAP P119 D-5	
●明治用水旧頭首工跡（豊田市） 江戸末期から明治にかけて開発された農業用水。現在の頭首工は昭和33年に完成。 住 豊田市室町7 交 東海環状自動車道豊田松平I.Cから約7分 MAP P112 H-4	
●百々貯木場跡（豊田市） 三河山間部で伐採された材木を矢作川を介して搬送した中継地点。石積みの特門が残る。 住 豊田市百々町 交 東海環状自動車道豊田勘八I.Cから約7分 MAP P112 H-3	

岐阜県	
●（財）岐阜県陶磁資料館（多治見市） MAP P110 H-4	
●市之倉さかづき美術館（多治見市） MAP P110 G-5	
●幸兵衛窯（多治見市） MAP P110 G-5	
●岐阜県現代陶芸美術館 セラミックパークMINO（多治見市） MAP P110 H-4	
●たじみ創造館（多治見市） MAP P110 G-4	
●瑞浪陶磁資料館（瑞浪市） 歴史豊かな陶磁器を、古代から現代までの産業史をテーマに時代を追って展示。 住 瑞浪市明世町山野内1-6　☎ 0572-67-2506 交 JR中央本線「瑞浪」徒歩30分、中央自動車道瑞浪I.Cから3分 営 9:00～17:15　休 月曜、祝日の翌日、年末年始 料 大人200円　小中生100円 HP http://www.city.mizunami.gifu.jp/ MAP P119 B-3	
●サイエンスワールド（瑞浪市） サイエンスショーや体験メニューを通して、科学の不思議と面白さを体験できる。 住 瑞浪市明世町戸狩54　☎ 0572-66-1151 交 JR中央本線「瑞浪」徒歩40分、車で5分 営 9:00～17:00　休 月曜、祝日の翌日、年末年始 料 無料 HP http://www.astec-gifu.jp/ MAP P119 B-3	
●織部の里公園（元屋敷窯）（土岐市） MAP P110 H-3	
●駄知印判館（土岐市） MAP P119 B-4	
●土岐市美濃陶磁歴史館（土岐市） 志野や織部など桃山陶を中心に、美濃焼の歴史を物語るやきものを展示。 住 土岐市泉町久尻1263　☎ 0572-55-1245 交 JR中央本線「土岐市」徒歩10分 営 10:00～16:30　休 月曜、祝日の翌日、年末年始 料 大人200円　高大生100円　中学生以下無料 HP http://www.city.toki.lg.jp/ MAP P110 H-3	
●美濃焼伝統産業会館（土岐市） 美濃焼の伝統的技術に関する資料や美濃焼陶磁器製品を展示。作陶体験もできる。 住 土岐市泉町久尻1429-8　☎ 0572-55-5527 交 JR中央本線「土岐市」から市民バスで約20分 営 9:00～16:30　休 月曜、祝日の翌日、年末年始 料 大人200円　高大生100円　中学生以下無料 HP http://www.minoyaki.gr.jp/ MAP P110 H-3	
●名鉄資料館（可児市） 名古屋鉄道100年にわたる車両と鉄道、用品の変遷を展示。車両の運転体験もできる。 住 可児市川合北2-158　☎ 0574-61-0831 交 名鉄広見線「日本ライン今渡」徒歩20分 営 10:00～17:00　休 土・日・祝、年末年始 料 無料（見学希望者は事前の予約が必要） HP http://www.meitetsu.co.jp/siryokan/index.html MAP P110 F-2	

●花フェスタ記念公園（可児市） MAP P110 G-3	
●ストーンミュージアム博石館（中津川市） 世界各地から集めた貴重な鉱物や石を展示。地下迷路や宝石探し体験コーナーもある。 住 中津川市蛭川5263-7　☎ 0573-45-2110 交 JR中央本線「恵那」からバス「博石館前」下車 営 9:00～17:00　休 年末年始 料 大人800円　子ども500円 HP http://www.hakusekikan.co.jp/ MAP P119 C-2	
●旧八百津発電所資料館（加茂郡八百津町） 明治44年に建設された木曽川水系最古の近代発電所。日本の水力発電の歴史がわかる。 住 加茂郡八百津町八百津1770-1　☎ 0574-43-3687 交 東海環状自動車道可児御嵩I.Cから約25分 営 9:00～16:00（1～3月　10:00～） 料 月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始 休 大人320円　小中生110円 HP http://www.town.yaotsu.lg.jp MAP P110 H-2	
●高山祭屋台会館（高山市） MAP P114 F-2	
●日下部民藝館（高山市） MAP P114 F-2	
●飛騨高山春慶会館（高山市） MAP P114 F-2	
●飛騨の家具館（高山市） MAP P114 F-2	
●（株）大のや醸造久々野センター（高山市） 味噌、醤油の製造工程が見学できる。10名以上には味噌汁の試飲サービスがある。 住 高山市久々野町柳島848　☎ 0577-52-3646 交 東海北陸自動車道高山西I.Cから約30分 営 9:00～16:30　休 日曜、第2土曜、年末年始 料 無料 HP http://www.ohnoya-takeda.co.jp/ MAP P114 F-3	
●夢工場飛騨（高山市） 煎餅づくりの体験工場。たまりやゴマなど種類も豊富。完成品は袋詰にしてお土産に。 住 高山市桜町52　☎ 0577-32-2814 交 JR高山本線「高山」徒歩20分 営 9:00～17:00　休 無休　料 無料（体験有料） MAP P114 F-2	
●飛騨の匠文化館（飛騨市） MAP P114 E-1	
●飛騨古川まつり会館（起し太鼓の里）（飛騨市） 絢爛豪華な御神輿と祭屋台3台を常設展示。飛騨絵馬など伝統工芸の実演紹介もある。 住 飛騨市古川町壺之町14-5　☎ 0577-73-3511 交 東海北陸自動車道飛騨清見I.Cから約20分 営 9:00～17:00（12～2月　16:30まで） 休 年末年始 料 大人800円　高大生700円　小中生400円 HP http://www6.ocn.ne.jp/~okosi/ MAP P114 E-1	
●旧遠山家民俗館（大野郡白川村） MAP P115 C-1	
●どぶろく祭りの館（大野郡白川村） MAP P115 C-1	

産業観光施設データ

まだまだバラエティに富んだみどころが豊富にあります。
中部地方ならではの魅力あふれる産業観光を満喫してください。

ジャンル

 伝統工芸

 工場見学

 企業ミュージアム

 農業・林業

 美術館・博物館・資料館

 産業遺産

 住所

 交通

 電話

 営業時間

 休み

 料金

 ホームページ

※施設により予約の必要、人数の制限などありますので訪問前にご確認ください。

名古屋市内	
●徳川美術館（東区）	p17 P109 D-2
●蓬左文庫（東区）	p17 P109 D-2
●文化のみち二葉館（東区） （名古屋市旧川上貞奴邸）	p19 P109 D-2
●名古屋陶磁器会館（東区）	p19 P109 D-2
●愛知県美術館（東区） ピカソ、クリムトなど20世紀初頭から今日までの国内外の名作を多数所蔵。	P109 D-3
●NHK名古屋放送局 遊&放プラザ（東区） テレビ放送の技術や仕組みを見て、体験して、学べる。模擬スタジオが人気。	P109 D-3
●ノリタケの森（西区）	p21 P109 C-2
●トヨタテクノミュージアム産業技術記念館（西区）	p23 P109 C-2
●ランの館（中区）	p35 P109 D-3
●名古屋市美術館（中区） エコール・ド・パリ、メキシコ・ルネサンス、現代美術など多彩に所蔵。	P109 C-3
●名古屋市科学館（中区） プラネタリウムが人気の総合科学館。科学のおもしろさを体験できる。	P109 C-3

●でんきの科学館（中区） クイズやゲームにチャレンジしながら電気の歴史や原理を楽しく学べる。	P109 C-3
●三菱東京UFJ銀行貨幣資料館（中区） 紀元前から現代まで、世界各国の珍しい貨幣約1万点を常設展示。	P109 D-3
●国際デザインセンターデザインミュージアム（中区） デザインの世界を歴史的に紹介。アメリカン・アール・デコ・コレクションも公開。	P109 D-3
●ロボットミュージアム in 名古屋（中区）	p24 P109 D-3
●鍋屋上野浄水場旧第一ポンプ所（千種区） 大正3年の給水開始以来平成4年まで稼動したポンプ所。意匠を凝らした名建築。	P108 E-2
●アサヒビール名古屋工場（守山区） ビールづくりの製造ラインが見学できる。つくりたての生ビールを試飲できる。	P108 E-1
●ネクス・プラザ（北区） 名古屋高速道路の広報施設。ゲームやクイズで楽しみながら学べる。	P109 D-2

●庄内用水元杵樋（守山区） 庄内川から堀川に水を引くために造られた。人造石工法で土木技術史上貴重な遺構。	P109 D-1
●名古屋市博物館（瑞穂区） 考古、美術工芸、民俗など幅広く所蔵。尾張地方の旧石器時代から現代の歴史を紹介。	P109 D-4
●有松・鳴海絞会館（緑区）	p25 P112 E-3
●松重閘門（中川区） 中川運河と堀川の間を船が行き来できるよう水路の水位調整のため設けられた堰。	P109 C-3
●高浜市やきものの里かわら美術館（高浜市） 瓦に関連した多種多様な美術作品を展示。鬼瓦の型抜きなどの陶芸体験教室も開催。	P123 A-2
●へきなんたんトピア電力館（碧南市） 環境に配慮しながら電気をつくる仕組みを学べる電力館のほか、庭園風緑地も併設。	P120 H-3
●碧南市農業活性化センターあおいパーク（碧南市） 土とふれあう施設。畑で新鮮な野菜を収穫できるもぎとり体験が人気。	P120 H-3
●あいや西条園（西尾市）	p39 P123 A-3
●犬山市文化史料館（犬山市）	p67・p84 P110 E-3

●どんでん館（犬山市）	p84 P110 E-3
●博物館 明治村（犬山市）	p85 P110 E-4
●小長曾古窯（瀬戸市）	p49 P112 H-1
●瀬戸蔵ミュージアム（瀬戸市）	p50 P112 G-1
●窯垣の小径（瀬戸市）	p49 P112 G-1
●一里塚本業窯（瀬戸市）	p51 P112 G-1
●愛知県陶磁資料館（瀬戸市） 縄文土器から現代陶芸まで幅広く展示。作陶体験もできる。	P112 G-1
●ノベルティ・こども創造館（瀬戸市） 粘土を使った遊びや創作体験から、土のおもしろさやノベルティの技術を体感。	P112 G-1
●キリンビアパーク名古屋（清須市） 創業当時の旧ビール工場で、ビールづくりの工程見学、試飲ができる。	P109 B-1
●七宝町七宝焼アートヴィレッジ（海部郡） 七宝焼の製作工程の見学や体験、作品鑑賞を通して歴史や技術を学べる。	P113 C-1
●森永乳業（株）中京工場（江南市） 牛乳やアイスクリームなど乳製品の製造工程を見学できる。アイスの試食もある。	P111 D-4

